

(4月の野菜の見通し)

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年 入荷量 (t)	前年 占有率 (%)	
だいこん		10,510	100	10,411	120	79	99	-	-	主力産地の作柄は良好で平年並の見込み。神奈川の切れ上がりは早いと予想される。入荷量は前年並で価格は前年を下回る見込み。
にんじん		7,622	105	7,477	169	107	167	-	-	徳島産中心の入荷で全体の7割を占める。今年は徳島がゆっくと増加し後半に急増する見込み。下旬には価格は下げに向かうだろう。全体の入荷量は前年を上回り、価格も前年を上回る見込み。
はくさい		5,926	100	5,926	116	78	90	-	-	茨城中心の入荷で全体の9割を占める。原発問題の影響が今後とも心配される。春白菜についてはやや遅れはあるものの量的には十分。秋冬物の切れ上がりが早まる3月下旬は高く、4月後半には価格は下がるだろう。全体の入荷量は前年並、価格は前年を下回る見込み。
ほうれんそう		1,319	100	1,369	599	72	471	0	-	埼玉、茨城、岩手産を中心に市況をリードする。震災、原発問題の影響が今後とも心配される。入荷も出荷停止などの影響により見通しは難しい。
キャベツ類		15,377	100	16,785	167	78	120	-	-	神奈川、愛知、千葉産中心の入荷で全体の約9割を占める。作柄は平年並。神奈川の春キャベツが価格を引っ張るであろう。昨年のような高値はないものの平年比では高いと予想される。全体の入荷量は前年並、価格は前年を下回る見込み。
ねぎ		3,998	80	4,061	362	96	276	3	-	千葉、埼玉産中心の入荷で全体の8割を占める。原発問題の影響が今後とも心配される。全体の出荷量は前年を下回り、価格は前年を下回る見込み。
レタス類		6,466	105	6,955	296	107	213	-	-	茨城、香川、兵庫産中心の入荷で約9割を占める。原発問題の影響が今後とも心配される。全体の入荷量は前年を上回、価格も前年を上回る見込み。
きゅうり		6,546	102	6,769	326	80	273	-	-	埼玉を中心とする関東産が市況をリードする。各産地とも生育は順調。全体の入荷量は前年をやや上回り、価格は前年を下回る見込み。

(4月の野菜の見通し)

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比見込(%)	5カ年平均	前年実績	前年比見込(%)	5カ年平均	前年入荷量(t)	前年占有率(%)	
なす		2,065	108	2,640	474	77	363	-	-	高知、福岡産中心の入荷で全体の約7割を占める。各産地とも気象条件に恵まれて生育は順調。全体の入荷量は前年を上回り、価格は前年を下回る見込み。
トマト		5,609	105	6,215	467	79	411	-	-	福岡などの暖地産に続き、千葉などの関東産が市況をリードする。震災、原発問題の影響が今後とも心配される。作柄は、関東中心に年明けの日照が多いことから良好。肥大も良好。全体の入荷量は前年を上回り、価格は前年を下回る見込み。
ピーマン		1,808	108	2,119	672	74	481	-	-	茨城、高知、宮崎産中心で全体の約9割を占める。本年は低温の時期もあったが全国的に日照時間が長く生育は順調。全体の入荷量は前年を上回り、価格は前年を下回る見込み。
ばれいしょ		8,525	100	9,274	193	90	144	-	-	北海道、鹿児島産中心の入荷で全体の9割を占める。北海道産の在庫量は少ない。鹿児島を中心とした九州産は4月中旬に出荷は本格化する見込み。全体の入荷量は前年並、価格は前年を下回る見込み。
たまねぎ		12,118	102	13,364	136	95	97	-	-	佐賀産中心の入荷で全体の約5割を占める。北海道産の貯蔵玉ねぎの出荷は終盤を迎え、佐賀産新玉ねぎの出荷が徐々に本格化する。佐賀県では早生品種の作付けが増えている。全体の入荷量は前年を上回り、価格は前年を下回る見込み。